

令和6年度

グループホーム 荻生 金さん銀さん

# 自己評価・外部評価・運営推進会議評価表

特定非営利活動法人 生活支援センター アットホーム新川

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム荻生金さん銀さん

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I.理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・当法人の理念を施設内に掲げ、職員はそれを念頭におき支援に携わっている ・施設独自に活動目標を職員全員で毎年決めている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎月発行の広報紙を地域へ回覧する ・近所の方と日常的な挨拶をする ・認知症カフェの開催で交流を図る ・地元中学の14歳の挑戦を受入れる	・近所で火事があった場合の対応 ・金さん銀さんだよりの配布範囲を広げては		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進委員会の意見を事業所全体で共有し活動に活かす ・運営推進会議の議事録を、関係機関や家族等へ送り、事業所内にも掲示	・議事録を出席委員へも配布してほしい ・来訪者が見れるように玄関などに掲示しては		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議に市の担当者を委嘱 ・市から案内の研修や事例検討会などに参加している	・運営推進会議への出席を得ており、市の研修などにも参加して連携を図っている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・身体的拘束等の適正化のための指針と改善計画を定めている ・全職員を対象に身体拘束と虐待防止に関する研修を毎年行っている		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修の実施およびチェックリストの活用により、虐待防止に努めている。 ・玄関の施錠をしないで実践している。 ・利用者の意思を尊重して無理やりやらせていない。 ・ベッドからの落下等の対策が必要である。 ・研修や自己評価の取組は評価できるが、「マンネリにならないよう、気を引き締めて臨んでほしい。」
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・高齢者虐待防止のための指針を定めている ・全職員を対象に身体拘束と虐待防止に関する研修を毎年行っている		A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修参加により、虐待防止に対する理解を深めている。 ・実績として、虐待の件数が0である。 ・職員全員が丁寧な介護をしていて虐待はないと見受けられる。”
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・権利擁護に関する外部研修に参加し、研修後内部で研修報告を実施 ・必要に応じ本部から支援を行う ・法人に顧問弁護士がいる			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約時に、重要事項説明及び契約書等を説明し、利用料金、想定されるリスク、退居基準等を説明している ・報酬加算の必要性の説明や料金改定の理由など丁寧に伝えている			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議に家族代表者に出席して頂き思いや意見をいただいている ・利用者のつぶやきや、家族の個別面接及び電話対応時に意向等を伺い反映させている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・研修参加により、虐待防止に対する理解を深めている。 ・実績として、虐待の件数が0である。 ・職員全員が丁寧な介護をしていて虐待はないと見受けられる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・管理者以外の職員で構成する委員会（接遇カイゼン・行事レク・研修衛生防火・ICT・看護師・調理）で意見や提案を行ない運営に反映している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・キャリアパス制度の設置 ・年3回自己評価を実施 ・就業規則などの積極的見直しを行っている ・長期勤務者の表彰あり		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自己評価を年3回するのは、振り返るという意味で大変いいことだと思われる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・全職員を対象とした研修を年2回、管理者研修を年4回、その他ケアマネや看護師及び調理員の法人独自研修を実施 ・外部研修に参加（業務として）		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・技量向上のため、積極的に研修を実施・参加している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人内の他事業所と合同運動会を行ない利用者と職員の交流を実施 ・くろベネット定期事例検討会へ参加し同業者、地域の関係機関とのネットワークづくりに取り組んでいる			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の希望や意思を大切にし、思いを酌み取れる支援をしている ・利用者の出来る力が発揮できる関係を念頭にケアしている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・掛りつけ医療機関を受診している ・受診時に家族と出掛けることが気分転換になっている	・コロナ禍から馴染みの人の訪問が減少したままになっておりあまり十分とは言えない ・コロナの5類移行で支援を広げたい		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的にあセスメントシートや私の気持ちシートを更新 ・日々の生活で聞き取った情報を記録し共有している			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・月に2回の職員会議時や家族の面会時などに意見等をもらい活かしている ・介護計画の評価・モニタリング・課題分析を3か月毎に見直しを行っている	・計画の見直しは月2回の職員会議で行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族の意見を聞き、介護計画を作成し、3か月ごとに見直しをしている。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・支援記録はタブレット端末で個々に入力し職員間で情報共有している ・変化のある利用者については介護計画の見直しに活かしている		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・眠り SCAN の導入など、職員の目が離れているときも利用者の状況がわかる設備を導入している。 ・タブレットによる入力をして、一人ひとりの記録を残し活用している。 ・会議のたびに事故報告書を示してもらっているが、詳しい原因分析、再発防止策がなされている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の大型ワゴン車を使い遠方への外出支援を行っている ・認知症カフェを公民館で行ない、認知症への啓発活動を推進 ・ビデオ通話で遠方の家族と顔を合わせ話すことができる	・現在の施設機能を多方面に活用し、ビデオ会議など柔軟に対応している ・IOT(眠りスキャンや記録の電子化で共有の推進など)を活用		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域の協力医の往診や訪問歯科等を活用し本人の負担軽減に努めている ・ボランティアや14歳の挑戦を受け入れている ・買い物など少しずつ地域資源との関わりを持つように心掛けている	・コロナ禍後から段階的に活用範囲を広げている		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・かかりつけ医は、入居前からの医療機関を継続利用している ・家族の希望により往診診療に移行することも出来る ・受診時は経過記録や受診報告書で、医師との情報共有を図っている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めているあるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の入院時介護情報提供書として現状を紙面で提供 ・入院中の情報は地域連携室と密接に情報交換し早期の退院が出来ている		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院時、病院関係者との情報交換と退院にむけた意見交換を密にしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・看取りは行わないことを契約時に説明し、同意を得ている ・重度化した利用者の家族に改めて医療面に対する事業所の対応を説明している		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・重度化した場合の説明を十分にしている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員会議で定期的に対応の確認を行ない対応できるようにしている ・事務室に急変や事故発生時の対応手順を掲示し備えている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年2回の法定火災避難訓練をし、利用者の安全避難を全職員に周知 ・災害時におけるBCP計画に基づき机上訓練を実施している	・近所で火事があり、今までの火災に対する考え方を見直す必要があると考えている ・当法人全体の問題ととらえ、法人内の事業所間連携も検討している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・避難訓練のほかに、シェイクアウト訓練を実施している。いざという時に適切な行動ができるよう引き続き訓練を実施していきたい。 ・広報誌で避難訓練の様子が分かりやすく実践されている。 ・避難訓練はするとして、いざ災害に直面した時(特に一人体制の時)の協力態勢(専門家、運営推進委員等)を作っておく方が良いと思う。

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「勧めたい言動」「避けたい言動」に関するアンケートや自己チェックの実施 ・居室やトイレはノック声掛けでプライバシーの尊重に留意している ・全職員研修でマナー研修を実施		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一人ひとりにあつた対応をしていただいている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事をゆっくりと時間かけて食べる人や朝は寝坊したい人など本人の暮らしのペースに合わせて支援している			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者が栽培した野菜を収穫し、メニューに活かしている ・誕生会のスイーツ作りや夏の流しソーメン、お彼岸のおはぎ作りなど四季折々のおやつ作りをしている ・誕生日会にリクエストメニューを提供		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者同士や職員との交流が深まる活動を行っている。 ・施設内での調理は、五感を十分に感じられる環境で幸せなことだと思う。 ・調理中の音やにおいなどを施設内で感じられて、入居者は幸せである。小中学校なども自炊炊飯できたらと改めて思われた。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事と水分摂取量の記録を取り支援に役立てている(ケア記録) ・栄養バランスと便通の改善に心掛けた食事を提供			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後口腔ケアを実施 ・就寝時は義歯を外して洗浄 ・口臭の強い方は洗口液でうがいを実施		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的に口腔ケアを行うことで、清潔を保っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄はケア記録で管理し排泄パターンに応じた声掛けや誘導を実施 ・利用者の尿意・便意の排泄リズムに配慮 ・便秘予防として七分づきご飯や野菜を多く摂れる食事を提供 ・体操は全員で行うなど楽しみながら体を動かす活動を実施		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・排泄は一人ひとりの自主性と時間に合わせて行ってもらっている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入浴拒否時は無理せず翌日に変更など時間・曜日・回数を調整し心地良い入浴を支援 ・利用者の好みに合う入浴方法や季節の入浴剤を工夫している			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・安眠できるよう居室の温度管理を心掛けている ・眠りスキャンを活用し睡眠の状態(呼吸数・心拍数)や健康管理ができています			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・服薬マニュアルに添って支援し、適切に服薬できている ・薬が変更になった際は、用法や副作用をスタッフ全員周知 ・服薬支援で疑問があれば薬剤師に問い合わせて解決している		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・服薬漏れが報告されているが、それを踏まえ、マニュアル+個人にあった対応が可能であれば行っていければと思う。 ・薬の情報をその都度確認してもらっている。 ・服薬時の薬の落下が何度かあり、注意が必要。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・洗濯干しとたみやモップ掃除など一人ひとりの出来る役割をお願いし、職員と一緒に取り組んでいる ・共同作品の制作を行う	・利用者それぞれのできることでできないことに合わせて役割をお願いする		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・玄関先で日光浴や近所の散歩など日常の気分転換に努めている ・利用者の意向に合わせてドライブや買い物などの外出をしている ・家族との外出(コロナ禍後増)	・コロナ禍後の対応として家族との面会は居室で実施している ・家族との外出も感染対策をし、お願いしている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・小遣いを事業所で預り本人の好みに合わせた衣類など本人と一緒に買い物している ・おやつや買い出しの際、レジでの支払い作業を利用者をお願いする			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員が家族様と電話する際、本人様に電話に出てもらう時もある ・家族宛に年賀状を送る			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している 共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ホール内に五感を感じられる調理場や利用者がゆったりとくつろげるソファを配置し、居心地の良い空間がある ・季節を感じて頂けるよう壁面に四季折々の共同制作した作品を掲示している		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・開放的なホールを中心に、にぎやかな雰囲気づくりができている。 ・ホールは広く全員がゆったりくつろげて、快適な空間である。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・私の気持ちシートの活用や利用者との普段の会話を通して思いや願いを聞き、ケア記録に残し日々の支援に活かしている			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入所前の暮らしぶりを家族から聞き(基本情報・暮らしの情報などアセスメント項目に基づいて聴取)入所前に職員会議で情報共有し支援を行う ・入所による急激な生活環境の変化に対応するため、自分らしい暮らしの継続を支援(使い慣れた日用品の持込み)			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人のその日の状況(健康面、医療面、安全面、環境面)や介護計画に基づいた支援の結果をケア記録にとり職員間で継ぎし共有している		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者の中で体調が悪い人がいた場合に、即時に適切な対応が取れている。 ・一人ひとりの健康状態を把握して管理、活用をしてもらっている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今までの暮らしが継続できるように本人の思いとペースを尊重した支援をしている(入浴の対応など)			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・これまで使っていたタンス・テレビ・写真などを自室に置いて楽しんでもらう(配置は動線等を配慮する) ・動物、危険物以外は持ち込み可能		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・思い入れのあるものを持ち込み可にしていることで、生活環境が変わることに対する心身の負担軽減が図られている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の希望、意向に沿った外出やドライブなど外出支援を行っている ・四季折々に季節を感じ取れる催事(花見、縁日、そうめん流し、運動会など)を実施している ・公民館での認知症カフェにも参加した			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人が今できる力を精一杯発揮できるように、生活意欲などを鑑みた上で身近な活動(洗濯物たたみ、モップ掛け、新聞紙折りなど)から取り組む支援をしている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の話題をきっかけに他の利用者と交流が図られるように職員が働きかけ、笑顔や生き生きとした表情がある ・思うように話せない利用者や聞こえづらい利用者には、ジェスチャーやホワイトボードを使い自身の思いや意向が伝わるように支援している		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者や職員などと交流できる場所・時間が確保されている。 ・一人ひとりに合わせた会話を行ってもらっている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・希望する品物の購入を地域の店へ職員と外出したり、「14歳の挑戦」で地域の中学生との交流や演芸ボランティアの人との交流など積極的に行っている	・買い物などの職員サポートが行えるようになってきた ・地域の方々や中学校などとの交流が増えてきている		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・その人らしい暮らしが継続できるように思いに沿って季節感のある行事や外出の機会づくりを図っている ・家族や親せきの人との面会などコロナ前の交流が少しずつできている ・明るく家庭的な雰囲気や安心して穏やかな生活を送ることができるよう職員が結束し支援を行なっている	・コロナ禍後の生活が以前のように戻りつつあり、今後も進めたい	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自分の親、自分も将来お世話になりたいと思う GH である。これからもより発展した施設であっていただきたい。 ・家庭的な雰囲気や、一人ひとりに合わせた生活支援をしてもらっている。